

令和7(2025)年度(公財)ホソカワ粉体工学振興財団 KONA賞・奨励賞ならびに研究助成事業のご案内

公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団

当財団は、粉体工学・技術の発展に資することを目指して、平成3年(1991年)に創設され、平成24年に公益法人に認定されました財団法人で、毎年、粉体工学に関する講演討論会の開催や、英文論文誌 *KONA Powder and Particle Journal* の出版などの事業を進めると共に、大学等の研究機関に所属されている方々を対象として、主に粉体工学に関連した研究助成や褒賞、研究者育成などの助成事業を行っております。

令和7年度の助成事業は、2025年4月から募集を開始し、6月下旬に締め切り、選考委員会での審査、理事会での承認を得て、12月中頃までに採択結果が発表されます。ご応募には、所定の推薦書あるいは申請書の提出が必要です。

助成対象や申請方法、提出締切日等の募集要項の詳細につきましては、2025年4月頃に当財団のホームページ等で公開の予定です。申請書等の必要書類は、財団ホームページ内の下記の助成事業サイト (<https://www.kona.or.jp/jp/grants/>) からダウンロードいただくか、または下記にご連絡下さい。

〈推薦書・申請書の提出先および連絡先〉

(公財)ホソカワ粉体工学振興財団 事務局

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1-9

TEL: 072-867-1686; FAX: 072-867-1658

E-mail: contact_zagrant@hmc.hosokawa.com

URL: <https://www.kona.or.jp>



編集後記 Editorial Note

昨年に続き、今年もコロナ禍の収束と円安の影響で、多くの海外からの渡航者が街にあふれ、インバウンド需要による景気回復が見られました。しかし、その一方でオーバーツーリズムが発生し、宿泊料金の高騰や観光地・主要駅の混雑が問題となりました。私も国内旅行を断念し、自宅でビールを片手に、2024年パリオリンピックの開会式や競技で活躍する日本人選手を応援しながら過ごしました。皆さんはいかがでしたでしょうか。

一方、2022年のロシアによるウクライナ侵攻や、2023年に始まったパレスチナ・イスラエル戦争は今も続き、多くの犠牲者を生んでいます。オリンピックの華やかさの裏で、戦争の悲惨さを改めて感じ、

平和を祈らずにはいられていませんでした。

国内では、福島原発の廃炉処理に向けた燃料デブリの取り出し実験が2号機で開始されました。2035年までに廃炉完了を目指すとのことですが、今後も課題は残るでしょう。早期の区切りがつくことを期待しています。

さて、本号の「粉碎誌」では、9月に大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開催された第56回粉体工学に関する講演討論会の内容の一部を特集記事として掲載しました。テクニカルノートや新製品紹介とともに、ぜひお楽しみください。ご意見やご要望、ご寄稿もお待ちしております。よろしく願い申し上げます。